

# 日特建設株式会社

## 本店

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-10-6  
TEL.03(5645)5050(大代表) FAX.03(5645)5051

## 札幌支店

〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東4-2-20 1F  
TEL. 011(801)3611(代) FAX. 011(801)3633

旭川営業所 TEL.0166(48)3700  
函館営業所 TEL.0138(35)7010  
道東営業所 TEL.0155(24)5600

## 東北支店

〒982-0036 仙台市太白区富沢南1-18-8  
TEL. 022(243)4439(代) FAX. 022(243)4438

青森営業所 TEL.017(773)7275  
盛岡営業所 TEL.019(663)6100  
三陸出張所 TEL.0193(27)8157  
秋田営業所 TEL.018(863)3035  
山形営業所 TEL.023(641)5988  
福島営業所 TEL.024(536)1800

## 東京支店

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-10-6 2F  
TEL. 03(5645)5100(代) FAX. 03(5645)5107

長野営業所 TEL.026(228)6761  
群馬営業所 TEL.027(253)2305  
宇都宮営業所 TEL.028(637)3567  
水戸営業所 TEL.029(246)2700  
埼玉営業所 TEL.048(647)6981  
千葉営業所 TEL.043(225)8023  
横浜営業所 TEL.045(450)5553

## 北陸支店

〒950-0864 新潟市東区紫竹5-26-1  
TEL. 025(241)2234(代) FAX. 025(241)2229

佐渡営業所 TEL.0259(55)2332  
上越営業所 TEL.0255(44)4750  
富山営業所 TEL.076(452)2766  
金沢営業所 TEL.076(240)0111  
福井営業所 TEL.0776(38)6499

## 名古屋支店

〒460-0008 名古屋市中区栄1-16-6 8F  
TEL. 052(202)3211(代) FAX. 052(202)3212

岐阜営業所 TEL.058(275)0206  
静岡営業所 TEL.054(202)2090  
三重営業所 TEL.059(225)6575

## 大阪支店

〒541-0048 大阪市中央区瓦町2-2-7 10F  
TEL. 06(6232)2109(代) FAX. 06(6232)2108

京滋営業所 TEL.075(646)5890  
神戸営業所 TEL.078(577)2570  
奈良営業所 TEL.0747(22)5571  
高松営業所 TEL.087(840)4151  
松山営業所 TEL.089(946)0771  
高知営業所 TEL.088(861)4171

## 広島支店

〒730-0803 広島市中区広瀬北町3-11 9F  
TEL. 082(231)2109(代) FAX. 082(231)2310

鳥取営業所 TEL.0857(39)8050  
松江営業所 TEL.0852(21)7317  
岡山営業所 TEL.086(226)1429  
山口営業所 TEL.0839(25)4258

## 九州支店

〒812-0027 福岡市博多区下川端町1-3  
TEL. 092(271)6461(代) FAX. 092(271)6482

佐賀営業所 TEL.0952(37)6912  
長崎営業所 TEL.0957(49)9320  
熊本営業所 TEL.096(382)1639  
大分営業所 TEL.097(552)4222  
宮崎営業所 TEL.0985(23)1406  
鹿児島営業所 TEL.099(227)0901  
沖縄営業所 TEL.098(861)0739

## 直轄グラウト部

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-10-6 2F  
TEL. 03(5645)5111(代) FAX. 03(5645)5112

## 海外事業部

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-10-6 5F  
TEL. 03(5645)5055(代) FAX. 03(5645)5056

## ジャカルタ駐在員事務所(インドネシア共和国)

Epicentrum Walk Lantai 5 Unit B515  
Jl. HR Rasuna Said, Kuningan, Jakarta 12940, Indonesia  
TEL. 62-21-2994-1582 FAX.62-21-2994-1991

**お問い合わせ** 本店技術本部、事業本部、または最寄りの支店、営業所へお問い合わせください。

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-10-6 5F

技術本部 TEL:03-5645-5115 FAX:03-5645-5113

事業本部 TEL:03-5645-5060 FAX:03-5645-5066



E-mail [mag@nittoc.co.jp](mailto:mag@nittoc.co.jp) URL <http://www.nittoc.co.jp>

2016.06

## スプリッツアンカー工法の取扱注意事項

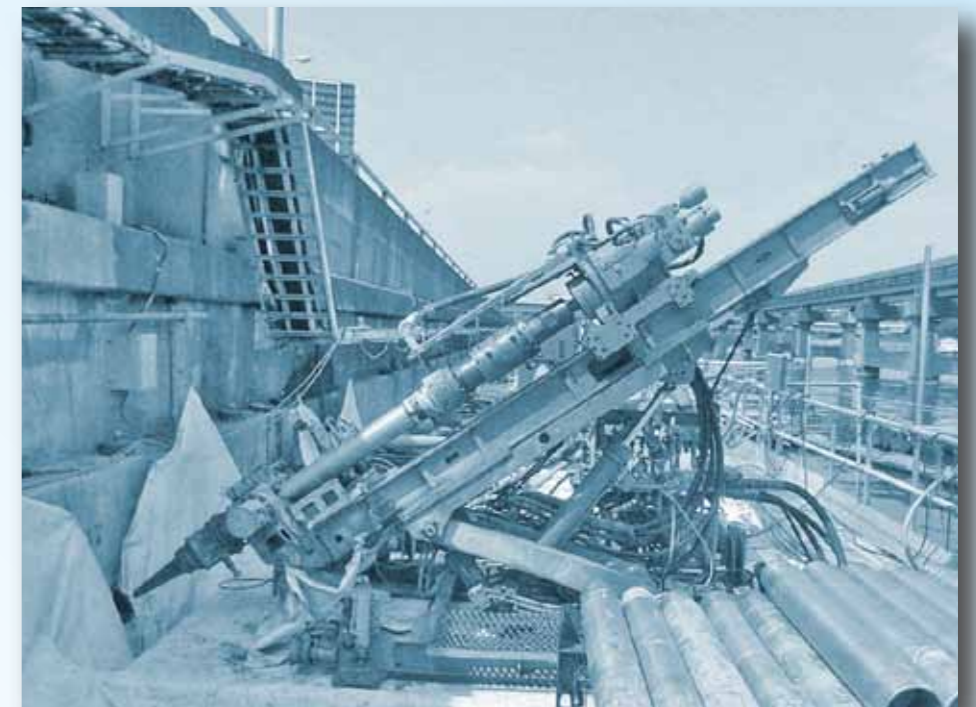
●スプリッツアンカー工法の取扱に際しては、技術資料等をご確認ください。●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データに基づくものですが、多岐にわたる条件下での実際の現場施工結果を確実に保証するものではありません。●商品改良のため、予告なく仕様の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

# NITTOC

# NITTOC

## 軟弱地盤に確実に定着できる削孔技術

# スプリッツアンカー工法

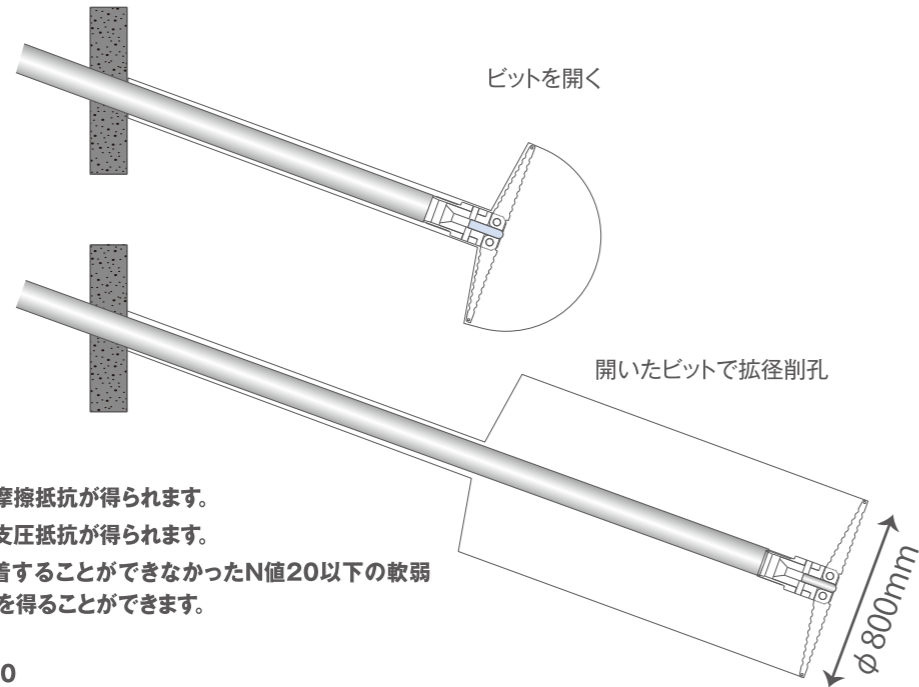


# スプリッツアンカー工法

## 軟弱地盤に確実に定着できる削孔技術

スプリッツアンカー工法は、アンカー体長部を拡径削孔することにより、従来のグラウンドアンカーでは定着不可能であった軟弱地盤への定着を可能とした工法です。軟弱地盤に定着することで、アンカー長を短くすることができます。

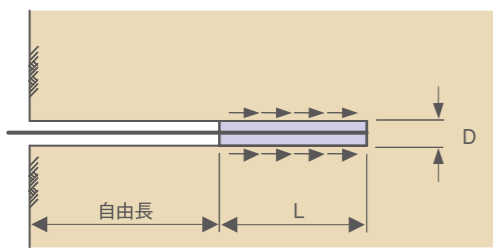
### 大口径のアンカー体



### 特徴

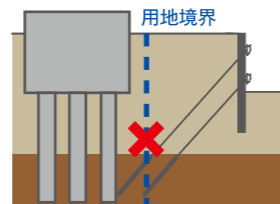
- 大きな側面積により、摩擦抵抗が得られます。
- 大きな断面積により、支圧抵抗が得られます。
- 今までアンカーを定着することができなかったN値20以下の軟弱地盤でも、引抜き耐力を得ることができます。
- 適用地盤  
粘性土地盤:  $2 \leq N \leq 10$   
砂質土地盤:  $5 \leq N \leq 20$

### 支持力機構

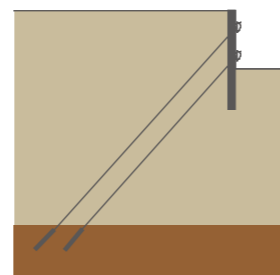


引抜き抵抗力=摩擦抵抗力

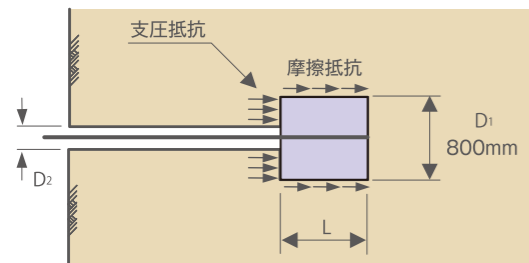
従来型アンカー



用地境界が近い

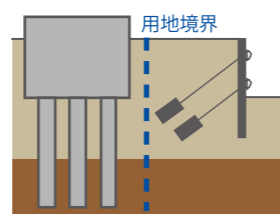


支持層が深くて不経済

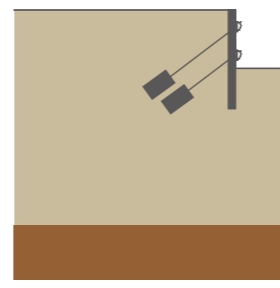


引抜き抵抗力=摩擦抵抗力+支圧抵抗力

スプリッツアンカー



用地境界を侵さず定着



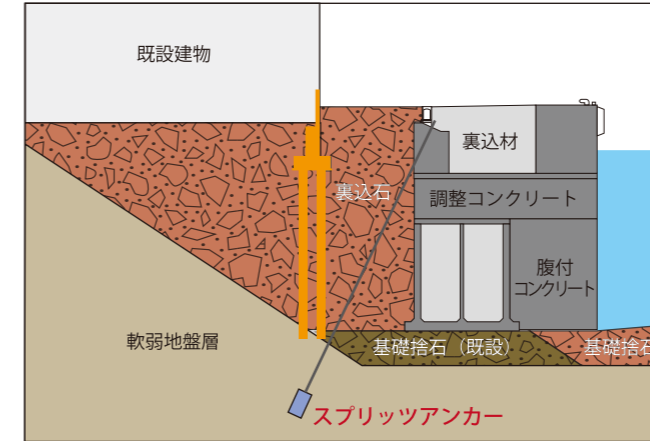
短いアンカー長で定着

短いアンカー長で経済的。工期短縮にも。

### スプリッツアンカーの適用事例

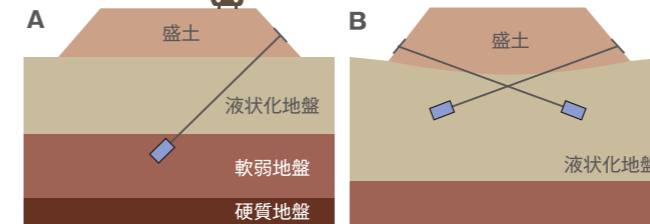
アンカー体を軟弱地盤に定着することでアンカー長を短縮でき、経済的な施工が可能になります。

#### 漁港岸壁の災害復旧工事



軟弱地盤に定着することで、削孔長を大幅に短縮しました。また、ロータリーバーカッションドリルで二重管削孔することにより、硬質な裏込石も問題なく削孔できました。

#### 盛土の耐震補強工事



A: 緩い粘土層などの軟弱地盤に定着することで、短いアンカー長で盛土の耐震補強工事が可能です。

B: 盛土の両側からクロス状に施工することにより、地震による軽微な沈下は許容しながら形状保持による盛土体としての機能を維持します。

### 国立研究開発法人土木研究所との共同研究

国立研究開発法人土木研究所との共同研究を実施(H18~20年度)し、アンカー体の出来形と引抜き耐力を確認しています。

